

**生活安全部会**  
 部 会 長 / 福 山 勝  
 副 部 会 長 / 藤 原 新 吾

**「楽しく学ぼう防災の集い」を開催**

昨年3月11日の東日本大震災から約一年、生活安全部会は3月4日(日)午後1時30分から大蔵市民会館で「家族のいのちを守るために」と題して“楽しく学ぼう防災の集い”を開催しました。各区の区長や防災委員、消防団員、小学生など多くの参加がありました。

副部会長による、集いのねらいについての説明に続き、朝来市防災安全課長の講話を聴きました。講話では朝来市の防災の取り組みについて話していただきました。

次に「わが家の耐震対策」という題で、ひょうご防災特別推進員の松本晴紀氏に、いざというときに私たちはどう備えるかについて、教えていただきました。最後に参加者全員で、防災知識の〇×クイズに挑戦しました。景品付きということもあり大いに盛り上がりました。また楽しみながら防災について興味を持っていただけるよう、会場に模型や防災グッズの展示を行いました。

想定を超える津波によって、東日本大震災では未曾有の被害が出ました。人間が自然災害を抑え込むのは容易ではなく、事前に対応を重視して被害を軽減する「減災」が注目されています。そのためには国や自治体が行う「公助」に加えて、自分が災害に備える「自助」、さらに地域の人々が助けあう「共助」が必要です。生活安全部会の活動が、減災の一助になればと思います。



▲ 自治協 支援時における被災地の状況

**大蔵を運動・体操と笑いで元気に**

2月19日大蔵市民会館で健康教室と笑おう会を開催しました。当日は、今冬一番の寒さと前日の大雪の中、多くの方々のご参加を頂き時間を忘れるほど楽しいひと時を過ごしました。

全国的に、少子高齢化が進み、限界集落も増加の一途となっています。誰もが健康で長生きをしたいと願っています。

今回は朝来市社会福祉協議会のご協力を得て、かしのき園の寺本春美さんの歌いながら手を動かす体操では、ユーモアを交えて教えていただくとともに、高瀬の横尾 博さんには、「毎日実践10分間、5つの体操足腰鍛えてスリムな体に」と題し、水平足踏みや腰割り、パンザイ体操など、「これは一日2~300回」と言われ、全員「エー」と言いながら基本を教えてくださいました。

最後には昨年度大好評をいただきました「綾小路きみまろ」のDVDを舞台一杯の大型スクリーンに映し出し、皆で腹が痛くなるほど大笑いをしました。

(※横尾さんの体操に関する資料は自治協議会事務局に有りますので必要な方はどうぞ)



**健康福祉部会**  
 部 会 長 / 小 山 優  
 副 部 会 長 / 河 島 邦 洋



▲ 講師の様には手先が動きません



▲ 腰割り体操で明日は筋肉痛か…

**交流と魅力づくり部会**  
 部 会 長 / 横 尾 正 信  
 副 部 会 長 / 齊 藤 修

**「大蔵まなび隊」から**

昨秋の文化祭で、「大蔵まなび隊」の子どもたちが3B体操を披露しました。お世辞にも上手とはいえませんが、年配の方々主体の芸能

発表会に新鮮な風を送り込んだことは評価できるでしょう。

「大蔵まなび隊」には、大蔵小学校の1年生から6年生まで約25名の児童が参加しています。一昨年から自治協議会で引き受け3年目になろうとしています。公民館時代の活動をベースに手探りで運営し、文化祭でようやくお披露目することができました。学童保育でも山の教室でもない自治協の「大蔵まなび隊」は、これから何を学ぶ集団に成長していけばいいのか、新年度の活動をあれこれ考えているところです。

24年度は大蔵のあちこちに出かけて、城跡に登ったり、企業を見学したり、和尚と遊んだり、野菜畑を手伝ったりして、大蔵というのは、こんな所にこんな人がいるのだと現地で学ぶプログラムを取り入れたと思っています。スポ・レクや、工作や絵画や踊りにしても、年配の方々をご招待したり、健康広場におじゃましたり、黄色いベンチを一緒に作るなど、地域の人たちに参加してもらい、また、まなび隊も地域の活動に参加していくような計画にしたいと思います。

活動日は、月2回程度、土曜日の午前中です。「大蔵まなび隊」に温かいまなざしとご協力をいただきますよう、よろしくお願いします。



▲ 文化祭出演「3B体操」

**豆かちと黒豆パーティー**

いつもの年なら11月中に終わっている3年生の黒豆の収穫が、天候不順であったために12月中旬になったのと、その後の天候もよくなかったので豆の乾きも悪く、豆かちができずにいましたが、年明けの2月になってようやく行うことができました。

外で行っていた作業も、2月で天候の心配もあり、体育館にブルーシートを敷き、いつもならたたいて豆をさやから出していましたが、乾きが悪いため、たたくと割れる豆が沢山できることもあるので、二人ひと組になって手でさやから出しました。

作業のしかたを説明しましたが、よく聞いていた子はむき残しの無いように上手くむいていましたが、説明を聞いていなかった子は豆がまだ付いている枝を捨てていたり床にたたきついたり、それぞれの性格が作業にも出ているようでした。

半分位は枝豆として収穫し、粒もいつもの年よりは小さく形も悪いものが多く量も少なめでしたが、なんとか全ての作業を終えることができました。

収穫した黒豆は2月17日の参観日に今までにお世話になった環境部会の方や参観に来られた父兄と一緒に黒豆入りホットケーキを焼いて「黒豆パーティー」をして美味しくいただきました。

**環境部会**  
 部 会 長 / 雑 賀 忠 文  
 副 部 会 長 / 藤 原 秀 雄



▲ 黒豆パーティーの様子

▲ 二人ひと組になって手でさやから出しました。